

川田龍平参議院議員事務所
松谷 清
Tel 03-3508-8202
Fax 03-5512-2202

先日、神奈川県住民グループの方より、子供達の日本のぜん息情報についての陳情がありました。

文部科学省の調査情報と都道府県の調査情報の二通りありこれらの調査結果データには「大きな差異」があるとのこと。国内の諸大気環境を考えると「ぜん息」状態を参考にしますがどの調査データを使うかによって大きな「差」が生ずることには国民全体が留意すべきと考えます。

文部科学省調査対象は、例えば小学生データは一部のサンプル小学校であるのに対して都道府県調査は全小学校を対象としています。結果としては、別紙にデータ・グラフと出典等を例として示しておきましたが神奈川県調査結果(小学校)等は文科省調査結果と比較して大変大きな「差」があります。国・地方自治体は「どの情報を使うか」によって判断が異なってしまう結果としては諸対策の講じ方にも隔たりが生じるとの指摘です。

そこで、文部科学省としては

- 1、こうした都道府県調査がおこなわれていることやまた調査結果については情報収集されているのか。
- 2、されていない場合は、別紙を参照していただき、されている場合も含め、こうしたデータ差があることについてはどのように考察することになるのか。
- 3、文部科学省調査での「ぜん息」調査結果はどのような形で使われているのか。
- 4、都道府県とのデータは、3の調査結果の活用方法に変更をもたらしていくのか。

について資料の提供とご見解をお示しく下さい。

環境省としても、大気汚染とぜん息については全国での定点観測による継続的研究を行っていますが

- 1、環境省の研究の現段階について
 - 2、文部科学省調査と都道府県調査についてのデータ差の指摘についてどのような評価をされるか。
 - 3、環境省の調査と文部科学省・都道府県調査などとの連携について
- について資料の提供とご見解をお示しく下さい。